

平成 19 年 6 月 25 日



日本政策投資銀行  
株式会社三井住友銀行

**日本政策投資銀行と三井住友銀行共同のメザニンファンドを 2,000 億円規模へ拡大  
～UDSメザニンファンド:企業の成長支援や MBO、事業承継、事業再構築のための新たなファイナンスを提供～**

1. 日本政策投資銀行と三井住友銀行は、平成 18 年 1 月より共同で、企業の優先株式や劣後ローン等を引き受けるコーポレート・メザニンファンド（UDSメザニンファンド）を組成して参りました（当初ファンド総額 120 億円）が、今般、2,000 億円規模を目途にファンドを拡大することに決定致しました。
2. 我が国の企業金融は、シニアローンについては、シンジケート・ローンや買収ファイナンス等のマーケットの拡大、資本（エクイティ）については、IPO市場の発展、プライベートエクイティファンドの隆盛等により、その厚みが増しつつあります。しかしながら、シニアローンとエクイティとの中間に属する優先株、劣後ローン等のメザニンファイナンスについては、①企業の事業再構築の中でのバランスシートの調整ニーズ、②M&Aやバイアウト案件における資金調達手段、③円滑な事業承継のためのツール、④株式非公開化のソリューション等、多方面でのニーズがあるにも拘わらず、まだ資金の出し手は限定的です。こうしたことから、日本政策投資銀行と三井住友銀行は、共同して、コーポレート・メザニンの引受を行うファンド（UDSメザニンファンド）を組成し、1年半で約 10 件、800 億円前後の投資を行って参りましたが、資金ニーズの高まり及びメザニンマーケットの育成を睨み、今般の増額を行うことと致しました。
3. 当ファンドの運営は日本政策投資銀行が行いますが、三井住友銀行の取引先等を含め、幅広いネットワークから見出される案件を対象に、これまで両行が培ってきたファイナンスのノウハウを活用し、企業の成長支援や MBO、事業再構築を実現して参ります。この取組みによって、プライベートエクイティファンド等の行なう投資業務と、銀行の行う融資業務の隙間を埋め、対象企業に対してシームレスなファイナンスのサポートが可能となると考えております。

以上